

エコアクション21

環境経営レポート

期間 2022年7月～2023年6月



作成日 2023年10月31日



株式会社 濱田水道工務店

高知県 香南市 野市町 下井1350-7番地

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境目標
6. 環境活動計画
7. 環境目標の実績
8. 環境活動計画の取組結果とその評価
9. 次年度の環境活動計画の取組内容
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
11. 代表者による全体評価と見直しの結果

1.組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 濱田水道工務店
代表取締役 濱田 博 教

(2) 所在地

〒781-5235
高知県香南市野市町下井1350-7番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	代表取締役	濱田博教
連絡先担当者		濱田 由 美
連絡先	TEL:	0887-57-5207
	FAX:	0887-56-4733
	E-mail	hama-sui@fine.ocn.ne.jp

(4) 事業内容

建設業許可番号 高知県知事 許可（般-3）第7648号

種類	土木工事業	とび・土工工事業
	石工事業	管工事業
	鋼構造物工事業	舗装工事業
	しゅんせつ工事業	機械器具設置工事業
	さく井工事業	水道施設工事業
	解体工事業	

(5) 事業の規模

設立年月日	1996年
資本金	1千万円
売上高	2020年度：2億1千5百万円 2021年度：2億8千5百万円 2022年度：2億6千8百万円
従業員数	5名（2019年10月現在）
事業所敷地面積	564㎡
延べ床面積	655㎡

(本社)

(6) 会計年度

7月～6月

2.対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

対象範囲（認証・登録範囲）株式会社 濱田水道工務店 全社

対象事業

- ・土木工事業
- ・管工事業
- ・舗装工事業 機械器具設置工事業
- ・さく井工事業 水道施設工事業

レポートの対象期間 2022年 7月 ～ 2023年 6月

環境経営レポートの発行日 2023年10月31日

次回環境経営レポートの発行日の予定 2024年 10月頃

作成責任者 環境管理責任者 濱田博教

3.環境経営方針

環境経営方針

環境経営理念

株式会社濱田水道工務店は高知県香南市を主体に管工事業を行っています。

管工事業を通じ持続可能な社会の構築に向けて、建設工事におけるあらゆる場面において環境保全を意識し、環境負荷低減に努め、継続的な改善による環境経営を推進します。

基本方針

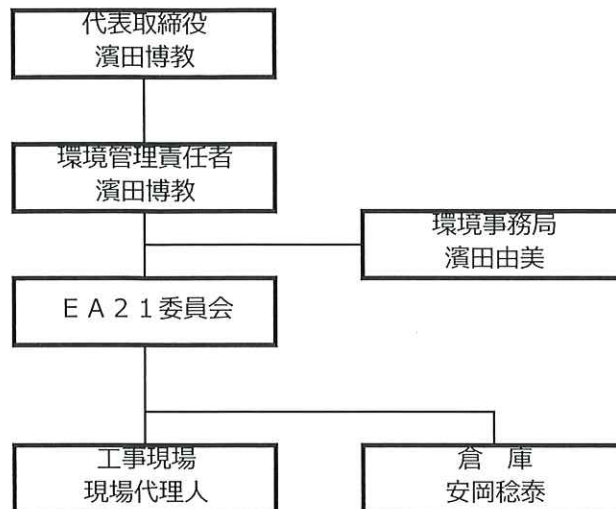
1. 環境負荷の少ない、設計施工を行います。
2. 車輛・重機の燃料使用量を削減し、二酸化炭素排出量削減に努めます。
3. 事務所・現場における電力使用量を削減し、二酸化炭素排出量削減に努めます。
4. 事務所及び工事現場における廃棄物発生量の削減及びリサイクルに努めます。
5. 事務所における水使用量を削減し排水量の削減に努めます。
6. 工事現場での資材及び事務用品のグリーン購入の推進を行います。
7. 環境関連法規及び条例等の遵守を行います。
9. 環境経営方針を従業員に周知徹底します。
10. 環境経営レポート等環境情報は外部公表いたします。

制定日：2018年 6月26日

代表取締役 濱田博教

株式会社 濱田水道工務店

3.環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限表
代 表 者	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の算定・見直し及び全従業員へ周知。 ・環境目標・環境活動計画を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環 境 管 理 責 任 者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境目標・環境活動計画を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境活動レポートの確認。
環 境 事 務 局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境目標、環境活動計画原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表作成。 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への連絡)。
部 門 長	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。 ・テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
従 業 員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。 ・倉庫の管理

5. 環境目標

(1) 単年度 (2022年度) 2022・7～2023・6

項目	単位	基準年 2014年度 2014. 7～2015・6	2023年度 目標 (▲10%) 2023. 7～2024・6
ガソリン使用量	(ℓ)	3,309	2,978
軽油使用量	(ℓ)	6,047	5,442
LPガス使用量	kg	3.11	2.80
電力使用量	kWh	16,758	15,082
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	35,046	31,541
	原単位 (kg/百万円)		118.11
用水使用量	m ³	329	296
産業廃棄物排出量	(t)	335	302
一般廃棄物排出量	(kg)	5	4.50
グリーン購入量	件	1.0	8.0
産業廃棄物再資源化率	%	100	100.0
環境負荷の少ない工事件数	%	100	100
環境美化活動	回	4	4

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数 (2014年度実績) (平成26年12月 5日公表) の四国電力の実排出係数0.699 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事件数

- ・低騒音・排ガス対策型重機の使用
- ・環境負荷の少ない材料 (リサイクル材) の使用

*3. CO₂排出量の原単位基準日は2019年度基準

(2) 中長期目標

項目	単位	2014年度 実績 (基準年)	2021年度 目標 (▲8%)	2022年度 目標 (▲9%)	2023年度 目標 (▲10%)	2024年度 目標 (▲11%)
ガソリン使用量	(ℓ)	3,309	3,044	3,011	2,978	2,945
軽油使用量	(ℓ)	6,047	5,563	5,503	5,442	5,382
LPガス使用量	kg	3.11	2.86	2.83	2.80	2.77
電力使用量	kWh	16,758	15,417	15,250	15,082	14,915
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	35,046	32,242	31,892	31,541	31,191
	原単位 (kg/百万円)		120.53	109.68	108.48	107.27
用水使用量	m ³	329.00	303	299	303	293
産業廃棄物排出量	(t)	335.00	308	305	302	298
一般廃棄物排出量	(kg)	5.00	4.60	4.55	4.60	4.45
グリーン購入量	件	1.00	6.00	7.00	8.00	9.00
産業廃棄物再生資源化率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
環境負荷の少ない工事件数	%	100	100	100	100	100
環境美化活動	回	4	4	4	4	4

* PRTR制度対象物質の使用がないため、化学物質使用量削減目標は設定していません。

6.環境活動計画

期間：2022年 7月 1日 ～ 2023年 6月 30日

項目		活動内容	担当者	期間
C O 2 排出量 削減	燃料使用量 削減	・ アイドリングストップ	濱田博教	2022 7/1～ 2023/6/30
		・ 使用しない道具を積み込まない,軽量化		
		・ タイヤの空気圧チェック		
		・ 急発進、急加速、急停止しない		
	電力使用量 削減	・ 昼休み等こまめな消灯,必要限度の照明	濱田由美	2022 7/1～ 2023/6/30
		・ LED照明への取替,採用		
		・ I P O N使用時間短縮,適正温度での使用		
		・ 省エネ型エアコンの取替		
用水使用量削減 (排水量削減)		・ 節水	濱田由美	2022 7/1～ 2023/6/30
		・ 節水器具の設置		
		・ 節水シール等の表示		
廃棄物削減		・ 廃棄物の分別徹底	濱田博教	2022 7/1～ 2023/6/30
		・ 用紙の使用量 コピー,印刷ミスの削減		
		・ 排出量の削減,リサイクル		
		・ マニフェストの管理		
グリーン購入		・ グリーン購入法適合商品の購入、推進	濱田由美	2022 7/1～ 2023/6/30
		・ 事務用品や事務機器等のグリーン調達の促進		
環境負荷の少ない工事件数		・ 低騒音・排ガス対策型重機の使用	濱田博教	2022 7/1～ 2023/6/30
		・ 環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用		
環境美化活動		・ ロードボランティア活動の実施	濱田博教	2022 7/1～ 2023/6/30

7.環境目標の実績

(1) 環境目標の実績

項目	単位	基準年 2014.7-2015.6	2022年度 目標 2022.7-2023.6	2022度 実績 2022.7-2023.6	目標 との 差	実績/目標 (%)	評価
ガソリン使用量	ℓ	3,309	3,011	1,971	-1,040	65%	○
軽油使用量	ℓ	6,047	5,503	7,497	1,994	136%	×
電力使用量	kWh	16,758	15,250	10,575	-4,675	69%	○
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	35,046	31,892	31,308	-584	98%	○
	原単位 (kg/百万円)		119.30	116.91	-2.39	98%	○
用水使用量	m ³	329	299	169.2	-130	57%	○
産業廃棄物排出量	t	335	305	0	-305	0%	○
一般廃棄物排水量	kg	5	4.55	29.6	25.05	650.5%	×
グリーン購入量	件	1	7.0	4	-3		×
産業廃棄物再資源化率	%	100	100	100	0	100%	○
環境負荷の少ない工事件数	%	100	100	100	-	-	-
環境美化活動	回	4	4	4	4	100%	○

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（2014年度実績）（平成26年12月 5日公表）の四国電力の実排出係数0.699（kg-CO₂ / kWh）を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事件数

- ・ 低騒音・排ガス対策型重機の使用
- ・ 環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用

* 3. 産業廃棄物は今回はJV工事・建築主体工事時で建築での一括処分の為自社からの排出は無し

* 4. CO₂排出量の原単位基準は2019年度を基準とした。

* 5. 実績/目標 = 125%以上の場合は再発防止対策をする。

環境目標の未達理由

軽油使用量： 工事受注量の増加により建設機械の燃料増加 重機車両・車両の増車で、目標達成ができていなかった。

CO₂ 排出量： 重機・車両の増車に伴う燃料使用量の増加により、目標達成ができていなかった。

グリーン購入量： グリーン商品だと思ってかったがちがってた為

一般廃棄物： 工事図面・ミスプリントによる紙の消費が多くなり、目標に達成できなかった

8.環境活動計画の取組結果とその評価

期間：2022年 7月 1日 ～ 2023年 6月30日

項目		活動内容	評価	取組結果・見直し
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	・アイドリングストップ	△	・ハイブリッド車を導入できるよう燃料節約に努める。
		・タイヤの空気圧チェック 車荷物の軽量化	○	・各職員専用の棚を構えて、当日使う道具のみ車に積み込むようにして荷物の軽量化を図る。
		・急発進、急加速、急停止しない	△	・日々、環境に配慮した運転に努める
	電力使用量削減	・昼休み等こまめな消灯,必要限度の照明	○	・現場で使用する照明器具も、LEDを使った器具に順次取り換えていく。 ・省エネ型エアコンに今後取替
		・エアコン使用時間短縮,適正温度での使用	△	
	・省エネ型エアコンへの取替	△		
用水使用量削減 (排水量削減)		・節水の周知徹底、声掛け	○	・水使用量は前年度より減少しているが、引き続き節水を呼びかける。
廃棄物 排出量削減	産業廃棄物	・廃棄物の分別徹底（産廃）	○	排出はありませんでした。
		・排出量の削減,リサイクル	○	
		・マニフェストの管理	○	
	一般廃棄物	・廃棄物の分別徹底（一般）	△	・メーカーのカタログが必要部数以上に会社に置いてあるため、カタログの更新時に古いカタログの排出量が多くなる。各担当者に必要な部数のみを取るようさせ、予備などを取らないように徹底させる。
		・用紙の使用量 コピー,印刷ミスの削減	△	
		・排出量の削減,リサイクル	×	
		・使用済みコピー用紙のリサイクル	○	
グリーン商品の購入		・グリーン購入法適合商品の購入,推進	×	・次期は積極的に調達したい。
環境負荷の少ない工事件数		低騒音・排気ガス対策型重機の使用 環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用	○	・目標達成でき、今後も継続したいと思います。
地域環境活動		・ボランティア清掃活動	○	・目標達成でき、今後も継続したいと思います。

■ 評価方法 ■

毎月実施の自社での環境パトロールおよび現場作業所での環境パトロール（但し、公共工事または請負金額 100万円以上の工事を対象とする）により点検を行い、その結果を評価する。

評価入力内容

○	達成
△	不十分
×	未達成

8.(1)具体的な取組状況

ロードボランティア

2022年12月25日



8.(2)具体的な取組状況

火災消火訓練

令和5年3月21日



8.(3)具体的な取組状況

省エネ型バックホー追加

2022年7月3日



9. 次年度の環境活動計画の取組内容

期間：2023年 7月 1日 ～ 2024 年 6月 30日

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減 車両（ダンプ・トラック）	・アイドリングストップ	濱田博教	2023・7/1～ 2024・6/30
		・使用しない道具を積み込まない,軽量化		
		・タイヤの空気圧チェック		
		・急発進、急加速、急停止しない		
	燃料使用量 削減（バックホー）	・アイドリングストップ	濱田博教	2023・7/1～ 2024・6/30
		・回転を制御する		
	電力使用量 削減	・エアコン使用時間短縮,適正温度での使用	濱田由美	2023・7/1～ 2024・6/30
		・昼休み等こまめな消灯,必要限度の照明		
用水使用量削減 （排水量削減）		・節水	濱田博教	2023・7/1～ 2024・6/30
廃棄物削減		・廃棄物の分別徹底	濱田博教	2023・7/1～ 2024・6/30
		・用紙の使用量 コピー,印刷ミスの削減		
		・排出量の削減,リサイクル		
グリーン購入		・グリーン購入法適合商品の購入,推進	濱田由美	2023・7/1～ 2024・6/30
		・事務用品や事務機器等のグリーン調達の促進		
環境負荷の少ない工事件数		・低騒音・排ガス対策型重機の使用	濱田博教	2023・7/1～ 2024・6/30
		・環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用		
環境美化活動		・ロードボランティア活動の実施	濱田博教	2023・7/1～ 2024・6/30

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	現場受注毎	濱田博教	遵守	2023年6月30日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	現場受注毎	濱田博教	遵守	2023年6月30日
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	現場受注毎	濱田博教	遵守	2023年6月30日
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 高知県への提出	第1回 6月末	濱田博教	遵守	2023年6月30日
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要の都度	濱田博教	遵守	2023年6月30日
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要の都度	濱田博教	遵守	2023年6月30日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	現場受注毎	濱田博教	遵守	2023年6月30日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	現場受注毎	濱田博教	遵守	2023年6月30日
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	現場受注毎	濱田博教	遵守	2023年6月30日
浄化槽法	第10条	○年1回の浄化槽の保守点検	現場受注時 年1回	濱田博教	遵守	2023年6月30日
	第11条	○年1回の水質検査の実施	現場受注時 毎年1回10月			
香南市環境基本条例	第5条	○公害の防止 ○廃棄物の適正処理	現場受注毎	濱田博教	遵守	2023年6月30日
高知県環境基本条例	第6条	○公害の防止 ○廃棄物の適正処理	現場受注毎	濱田博教	遵守	2023年6月30日
フロン排出規制法	16条	○第1種特定製品（業務用エアコン・建設機械エアコン）の簡易点検実施	3箇月に1回	濱田博教	遵守	2023年6月30日
	41条 45条	第1種フロン類充填回収業者へ引渡し引取証明	引取証明書の 3年間保存			

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2022年7月1日から2023年6月30日までの間、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

作成：2023年10月30日



11. 代表者による全体評価と見直しの結果

■ 定期見直し 実施2023/10/29
□ 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】				【環境方針】	
①環境関連法規制等の遵守状況				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
☐ 問題あり ☒ 問題なし				・ 今後共基本方針を意識し環境負荷につとめます。 次年度も現方針に沿って活動を継続する。	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況					
☐ 問題あり ☒ 問題なし					
③前回までの代表者の指示事項への対応					
☒ 対応済み ☐ 未対応					
<改善提案>				【環境目標・環境活動計画】	
				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
				・ 十分検討し、目標・計画の設定を行う。 ・ 年間目標達成に向けて、努力する。 ・ 活動計画の実施に関しては、社員一人ひとりの意識向上により改善と思われるので、学習や訓練を通して継続させる。	
【目標・環境活動計画の達成状況】				【実施体制】	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
CO2排出量削減	○	○	継続していく	・ 現状の体制で実施す。	
用水使用量削減	○	○	継続していく	・ 大きな事項変更、組織変更はなし	
廃棄物削減	○	○	取組の定着化を図る		
グリーン購入	×	×	改善に努める		
一般廃棄物	×	×	改善に努める		
環境負荷の少ない工事件数	○	○	継続していく	【その他】	
環境美化活動	○	○	継続していく	変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
<改善提案>				エコアクション21はシステムとして有効に機能している。	
・ 緊急事態に想定した、対応・訓練については、計画を十分行い年間行事に織り込む。					
【周囲の変化の状況】				【総括】 （環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載）	
①外部コミュニケーション記録より情報収集に努める				・ 会社一丸となってエアアクション21の定着化を図り、環境負荷低減に努める	
②環境関連法規制等の動向他					
特になし					
<改善提案>					
代表者が自ら得た情報					